

2023-24学年度米山記念奨学生 オリエンテーション／カウンセラー研修

米山記念奨学会・学友委員会 委員長 入井浩樹

2023年4月9日に2023-24学年度米山記念奨学生オリエンテーションと新世話クラブカウンセラー研修がロイトン札幌にて行われました。

2023-24学年度の新米山記念奨学生は18名で内1名が9月入学となります。国別ではドイツ1名、モンゴル1名、マレーシア2名、ベトナム2名、サウジアラビア1名、スリランカ1名、韓国2名、中国6名、台湾2名です。

参加者数は新奨学生17名、カウンセラー19名、ご来賓様とロータリアン（委員会委員含）が21名で、総勢57名で行われました。ご来賓には公益財団法人ロータリー米山記念奨学会嵯峨義輝理事（PG）様、安孫子建雄評議員（PG）様、福井敬悟財務委員（PG）様にご出席を頂きました。

カウンセラー研修は、総合司会に米山記念奨学・学友委員会原一彰副委員長が担当し14時から行われました、開会挨拶に米山記念奨学・学友委員会入井委員長が「今日は新奨学生と初対面になります、新奨学生は緊張をしていますので笑顔で接してあげてください。」と挨拶をし、嵯峨理事様からは「いよいよ米山奨学事業の新たな一年が始まります、新奨学生に楽しい思い出ができるようにご尽力ください。」とご挨拶を頂きました、また石丸修太郎ガバナーからは「カウンセラーは掛け替えの無いお仕事だと思います、新奨学生にもカウンセラーにも楽しい思い出ができるようご尽力ください。」とご挨拶を頂き研修が始まりました。

カウンセラー研修は米山奨学生研修委員会の米塚 豊副委員長が担当を致しました、研修のポイントは「個人情報の管理、危機管理、パワハラとモラハラ」でした。

続いて15時30分より新奨学生と新カウンセラー合同のオリエンテーションが開催されました、新奨学生皆さんはかなり緊張をした趣で会場に入り、世話クラブカウンセラー様と初対面を致しました。オリエンテーションの講師は入井委員長が担当で、米山記念奨学生の「義務」と「心構え」についてお話を致しました、2023-24学年度新米山記念奨学生はかなり優秀な学生が多いように思います、大半の学生は日本語検定1、通称「N1（エヌワン）」を取得されていました、これは素晴らしい事だと思います。

最後は歓迎会を行い新米山記念奨学生と新カウンセラー様から自己紹介とロータリーに対する期待、そして将来の夢などの2分間スピーチを行い終了致しました。マレーシアの学生はラマダンの期間中なので18時までは食事ができないとの事、また豚肉関係が禁止なので18時以降に特別なお弁当を用意し召し上がっていただきましたが、大変喜んで頂きました。

米山記念奨学事業は優秀な学生に対し応援をする事業で御座います、どうかご理解を頂き一人でも多く米山記念奨学生を育てたいと思いますのでご協力をよろしくお願い致します。

